

室

東京ネクタイ協同組合の調査によると「16年のクールビズ期間中(5~10月)のネクタイの売上高は前年同期比4.1%減」となった。クールビズが始まる前年の04年に比べ、売上高は51.0%減とほぼ半減している。

クールビズは夏のビジネススタイルに定着したが、負の面としてビジネスマンの服装が乱れることが問題視されることがある。昨年

は11月始めまで白の半袖シャツ姿のビジネスマンを見かけたし、「(白シャツの)中学生スタイルの大人が増えている」との指摘も業界人から受けた。

クールビズがノーネクタイではなく、「ノータイでもよろしい」と、より緩やかで柔軟なド

レスコードであれば、ここまで乱れなかったのではあるまいか。

作家の浅田次郎は「私にとって『クール・ビズ』なるノータイ運動は噴飯ものであった。桑ななりをしていくらか冷房費を節約したところ

で何も変わるまい。そんなことよりも、人と接するに際して、あるいは事をなすに当たって礼を失し威儀をたださぬことがどれほど

当人の力を削ぐか」(「まっいっか」集英社文庫)と指摘している。

クールビズは相手に対する礼儀だけでなく、衣替えなどの風習や季節感までも失わせている。

(Y. K)

失読み / 深読み

クールビズ